

先人に学ぶ下水道

福井市下水道部

部長 前 川 孝

はじめに

下水道は、私たちが生活していくうえで不可欠な社会基盤の一つであることは言うまでもありませんが、排水口へ水を流せば、自然に下水管を通して処理場まで流下し、そこで汚水が処理されていることなど、普段の生活では想像することはありません。また、本市では、2か月に1度、水道料金と一緒に市民の方々から下水道使用料を頂いておりますが、口座振替が大半となっている昨今では、下水道使用料をいくら払ったかを正確に答えられる方も少ないのではないのでしょうか。

それほど下水道は、私たちの生活に不可欠な存在になってきているのです。

下水道整備のはじまり

このように余りにも身近すぎる下水道ですが、ここまでの道のりは困難の連続であったと言えます。あまり知られていないことですが、戦後全国で最初に下水道事業に着手したのは、地方の小都市、福井市でした。

昭和20年10月に熊谷太三郎氏が市長に就任すると、本市の発展には下水道整備が必要不可欠であると決断し、戦災復興都市計画事業に取組むと同時に本格的な下水道事業に着手しました。当時は、昭和20年の戦災、昭和23年の震災と相次ぎ、財政的にも大変厳しい状況下にありましたので、下水道事業計画を当時の政府関係者に申し入れた時も、最初は本気で取り上げられなかったそうです。

ご存知のとおり、下水道整備には多額の費用と長い年月が必要です。当時の本市はその負担に耐えられないのではないか、という思いがあったようです。

しかし、熊谷市長は、毎年の予算編成の中で、下水道、都市計画、学校建設の三つを重点事業として全予算の半分以上をこれらの事業に当て、中でも下水道には必要な金は惜しまずつぎ込み、当時全国にも誇り得る下水道が出来上がったのであります。

本市の地勢と下水道

このように非常に強い逆風の中、本市の下水道事業は昭和22年から始まりました。これは大変な挑戦でもあったと思います。何故、それほどまでに下水道整備に情熱を傾けたのでしょうか。それは本市の置かれた地形にあります。市街地の平均標高約7～8mに対して、中心部を流れる足羽川の洪水位は約2m以上も高く、地表の平均勾配も千分の一から2千分の一程度と緩やかであることから、降雨時には排水不良による浸水被害に毎年悩まされ、さらに一度浸水が起こると衛生状態の悪化は避けられない状況でした。この悪循環を打破する抜本的対策が下水道整備であり、当時は雨水と汚水を一緒に集めて流す合流式を採用したのです。

当時の事業広報

私たちの先輩達は、処理場や管路整備等のハード面での整備だけでなく、後方活動等のソフト面にも力を入れていました。下水道への接続を促すため、ユニークな山車を製作し、お揃いの法被を着て市内をパレードした姿が写真に残っています。写真は昭和29年8月の「福井祭」での一コマです。

このように、下水道の広報に様々な工夫を凝らしていたことがわかります。現在、下水道に携わる私たちも、この姿勢を学ばなければならないと改めて感じている次第です。



昭和29年8月の「福井祭」の一コマ

これからの下水道

さて、下水道事業に着手してから60年以上が経過した現在、本市の汚水処理人口普及率はようやく90%を超え、今後は、残る未普及地域の整備を進めつつ、管路を含めた施設の維持管理、長寿命化への事業転換が必要となっております。さらに、昨年の東日本大震災を受けての施設耐震化の推進に加えて、近年の局地的ゲリラ豪雨による浸水対策など、災害対策も重要な課題であります。

このように耐震化を含めた計画的な維持管理、長寿命化には、施設の健全度を的確に把握・評価し、適正な管理を行うアセットマネジメントの考え方を取入れ、いかに効果的、効率的に事業を運営していくのかという視点から取組んでいく所存です。

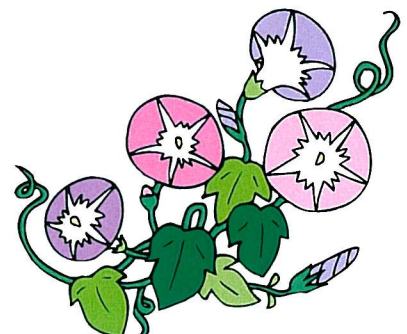
また、本市の場合、平成16年7月の福井豪雨災害時には、足羽川決壊による下水道管の土砂閉塞を県内、そして県外からの支援チームにより、いち早く復旧できた経験があり、過去の経験と先人の想いもしっかりと受け継いでいかねばなりません。

おわりに

本年3月に国は「下水道管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入に関する報告書」を公表しました。効率的な下水道施設の維持管理については、「発生対応型維持管理体制」から「予防保全型維持管理体制」への移行が重要であり、民間事業者の運営経験の蓄積を活かし最適化した提案によるコスト縮減効果が期待されるとしております。

公益社団法人の福井県下水道管路維持協会におかれましても、行政及び市民の身近なパートナーとして、今後も官民一体となって市民の生活環境の向上に寄与していただくとともに、貴協会が益々発展されるようご祈念いたしまして、巻頭の言葉とさせていただきます。

以上



平成24年度下水道管路維持技術研修会

●開催日 平成24年 5月17日（木）ユアーズホテルフクイ

1. 講師 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会

常務理事 篠田 康弘様

演 題 「東日本大震災の教訓と災害支援の取り組み」

・下水道施設の被害と復旧状況

下水処理場（震災当初）稼働停止	48箇所	下水管きよ（2次調査）総延長	64,815km
一部停止	63箇所	被害延長	642km
不明	9箇所		
計	120箇所		

が確認されている。

・災害対応

- ① 復旧支援の役割
- ② 支援体制
- ③ 災害支援協定と災害訓練

・災害復旧の流れ

- ① 都市災害復旧事業
- ② 災害復旧のタイムスケジュール
- ③ 管路協本部及び支部の役割
- ④ 緊急調査、緊急措置及び応急復旧工事
- ⑤ 一次調査、二次調査と記録表

災害時の管理別調査判定基準（案）

本管用調査記録表（案）

マンホール調査記録表（案）



ご来賓ご挨拶



福井県土木部河川課長 稲葉 隆夫 様



福井市下水道部長 前川 孝 様

第26回通常総会の開催

議案審議

第1号議案 平成23年度事業報告の件

第2号議案 平成23年度財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書
収支計算書承認の件、監査意見報告

以上の議案が、原案通り可決されたことをご報告いたします。

報告事項として会長より「包括的下水道管路民間管理研究委員会」の立上げの趣旨報告がありました。



五領川公共下水道事務組合と災害支援協定

●公益社団法人 福井県下水道管路維持協会は、平成24年6月11日、五領川公共下水道事務組合様と処理施設の設備に関わる県内外の6事業者合同で、災害支援協定を締結いたしました。各企業を代表して酒井典康会長が「地域住民の安心安全のために最大限、努力したい」と決意を述べた。



管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入メリット

【委託者側のメリット】

- ①民間ノウハウを活用した効率的かつ効果的な維持管理業務の実施
- ②点検、調査等に応じた迅速かつ適切な応急措置等対応
- ③維持管理情報の一元的管理による日常の維持管理業務及び維持管理計画の質の改善等事故発生リスク軽減や下水道使用者に対する質の高いサービスの提供という効果に加え、
 - ・発注事務の負担軽減による他業務（特にマネジメント等）への傾注による事業全般の質的向上
 - ・発注規模（業務範囲及び業務量）の増大に伴い共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費率が低減が期待される。

【受託側のメリット】

- ・業務自由度の向上により、人員・資機材の効率的配置、車両等機材の長期レンタル等ノウハウの発揮機会の拡大が期待され、結果として業界全体のレベルアップに寄与
- ・現場に応じた資機材の開発・改良、新たな設備投資技術レベルの向上に寄与が期待される。

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会正会員

株式会社キープクリーン

〒910-0006 福井市中央1丁目19-21
Tel:0776-27-0586 Fax:0776-22-0586

株式会社クォードコーポレーション

〒918-8151 福井市中荒井町第5号5番地
Tel:0776-38-3806 Fax:0776-38-6284

新保興業株式会社

〒914-0812 敦賀市昭和町1-18-26
Tel:0770-22-1243 Fax:0770-24-0102

株式会社成和建設

〒910-0855 福井市西方2丁目18-36
Tel:0776-23-0807 Fax:0776-23-6895

株式会社ダイエイ

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3
Tel:0778-24-4624 Fax:0778-24-4626

大北久保建設株式会社

〒911-0033 勝山市栄町2-7-6
Tel:0779-87-1580 Fax:0779-87-3148

丹南開発株式会社

〒916-0146 丹生郡越前町朝日5-17-1
Tel:0778-34-2334 Fax:0778-34-2674

テラオライテック株式会社

〒915-0806 越前市本保町第8号5番の1
Tel:0778-22-5215 Fax:0778-22-4100

東洋地工株式会社

〒910-0806 福井市高木町4-10-2
Tel:0776-53-5335 Fax:0776-53-5336

株式会社 トミックス

〒916-0005 鯖江市杉本町813番地
Tel:0778-51-1321 Fax:0778-52-2961

株式会社中村正建設

〒910-0833 福井市新保2丁目815番地
Tel:0776-54-2383 Fax:0776-54-2397

株式会社ニシデ・コンストラクション

〒918-8078 福井市更毛町11-22
Tel:0776-34-0474 Fax:0776-34-3092

西村建設株式会社

〒910-0122 福井市石盛町816番地
Tel:0776-56-2822 Fax:0776-56-2823

株式会社ミルタニ工業

〒910-0844 福井市長本町202番地
Tel:0776-53-5671 Fax:0776-53-5695

嶺南建設株式会社

〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12-24
Tel:0770-25-6333 Fax:0770-23-5580

鷺吉建設株式会社

〒910-0102 福井市川合鷺塚町38-8-4
Tel:0776-55-0463 Fax:0776-55-0669

賛助会員

エスジーシー下水道センター株式会社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地
(大久保ビル2F)
Tel:03-3355-3951 Fax:03-3355-3952

FRP内面補修工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3
Tel:03-3355-1525 Fax:03-3355-5786

クリスタルライニング工法協会

〒460-0013 愛知県名古屋市中区上前津2丁目1番11号
(東洋化工機(株)内)
Tel:052-321-3875 Fax:052-321-0173

株式会社 水研

〒918-8116 福井県福井市大町1丁目711番地
Tel:0776-35-8811 Fax:0776-34-3664

日本スナップロック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3(TMSビル)
Tel:03-3355-3851 Fax:03-3355-3852

ペンタフ株式会社

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1丁目7-10
Tel:06-6458-1231 Fax:06-6458-1221

丸一調査設計株式会社

〒910-0841 福井市開発町第20号6番地
Tel:0776-52-8400 Fax:0776-52-8401



公益社団法人福井県下水道管路維持協会

Fukui Sewer Collection System Maintenance Association

事務局／〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805